

2016-17 年度ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2820 地区

2016-17 年度 ガバナー

白戸 仲久 (古河中央)

ロータリアンの皆様、いよいよ 7 月、ロータリーに於いては新年度の始まりです。地区やクラブでそれぞれの役職に就かれる人達にとっては本番到来です。

私も 2 年前ガバナー・ミニに就任した時は、まだまだ 2 年先のことと思っておりましたが、昨年は 9 月早々に GETS が、そして今年 1 月 17 日～22 日迄、アメリカサンディエゴで行われたガバナーに就任する為の義務出席である「国際協議会」等、大きなセミナーに参加しました。あつと言う間に過ぎ去った 2 年間です。

特に、国際協議会には国内 34 地区のガバナーエレクト・配偶者との出席でした。国際協議会 2 日目の本会議に於いて、ジョン・ジャーム RI 会長エレクトは、次年度の RI 会長テーマを「**人類に奉仕するロータリー**」と発表されました。全世界には、貧困な人々、飢餓に苦しんでいる人々がまだまだたくさんおります。ロータリーの初期から、人類への奉仕はロータリーの礎であり、主な存在理由となってきました。伝統を継承する名誉を授けられたことから、このようなテーマにしましたと語られました。

そして、白戸年度の地区スローガンは「**ロータリーに魅力を・一人一人が輝きを!**」と致しました。全国レベルのセミナーに出席した時、あるコーディネーターは、日本のロータリーは「高齡化・マンネリ」に陥っていると言われておりました。それを聞いた私は、年齢を重ねることは誰にも止められませんが、何歳になっても自分の気持の持ち方次第でいつまでも若々しく、夢を描き続けられるのではないのでしょうか。

又、マンネリとは「独創性や新鮮味がないこと」と辞書にはあります。今、「ロータリーはクラブに多様性」が求められています。無難な前例踏襲や新しい事への躊躇が障壁になってはいないのでしょうか。

更に他の担当カウンセラーは、ロータリーは一人一人が広告塔だとも言っておられました。私のスローガン「一人一人が輝きを」と同義語のように感じました。世のロータリアンが倫理観を持って「人として守り行うべき道」を実践する努力をするならば、他の人からあの人は素晴らしいと評価するでしょう。更にロータリアンだと分かれば世の人々に魅力を感じさせられることでしょう。

我々の先達・米山梅吉翁は、「ロータリーとは人を作る団体である」、そして「自己改善は終生続けなければなりません」と言っております。

ロータリアンの皆様、先達が申しているように常に向上心を持って、各種プロジェクトを積極的に取り組んで下さい。

何卒皆様のご協力とご支援を頂き、実効ある年度にしたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

RI2016—2017 年度 ロータリー目標

【1:クラブのサポートと強化】

- ① 最近の退職者および若い職業人に働きかけて、会員増強を図る
- ② 会員の積極的参加とクラブの充実化を図り、会員維持率を向上させる
- ③ 会長賞へのクラブの参加を増やす
- ④ ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付を向上させる

【2:人道的奉仕の重点化と増加】

- ① 永久にポリオを撲滅する
- ② 年次基金へのクラブ寄付平均、および財団補助金への DDF(地区財団活動資金)拠出を高める
- ③ ポリオ撲滅への支援を続けるために、クラブと政府からの寄付を増やす
- ④ 財団の補助金と 6 つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める
- ⑤ 青少年や若きリーダーの支援、およびロータリーの 6 つの重点分野と関連したプログラムや活動において持続可能性を高める

【3:公共イメージと認知度の向上】

- ① ロータリーに対する人びとの認識を高める
- ② ロータリーの功績と、「世界でよいこと」をしてきた財団の 100 年の歴史について広報する

【地区スローガン】

「ロータリーに魅力を・一人一人が輝きを！」

【地区目標】

- ◎RI 会長賞へのチャレンジ
- ◎財団への支援と協力 150 ドル (130 ドル年次寄付・20 ドルポリオ)
- ◎会員増強と会員維持率の向上 純増 3%
- ◎青少年奉仕の支援 インターアクト/ローターアクト/ライラ/青少年交換
- ◎財団 100 周年を記念する国際大会への参加
- ◎米山記念奨学会への支援
- ◎アトランタ国際大会参加 30 人